

研究の組織，経費および発表

1. 研究組織

研究代表者	中込四郎（筑波大学体育科学系）
研究分担者	松村和則（筑波大学体育科学系）
研究協力者	豊田則成（筑波大学体育科学研究科）
研究協力者	金 大勲（筑波大学体育科学研究科）

2. 研究経費

平成 9 年度 1000 千円
平成 10 年度 1000 千円
平成 11 年度 800 千円

計 2800 千円

3. 研究発表

< 発表論文 >

- 1) 豊田則成（1999）アスリートの競技引退に伴うアイデンティティ再体制化に関する研究- 中年期危機を体験した元オリンピック選手- . スポーツ教育学研究，19，117-129 .
- 2) 豊田則成・中込四郎（2000）競技引退に伴って体験されるアスリートのアイデンティティ再体制化の検討 . 体育学研究（掲載予定）.

< 口頭発表 >

- 1) 豊田則成・中込四郎（1998）元スポーツ選手の競技引退に伴う同一性再体制化プロセス . 日本体育学会 第 49 回大会号：234 .
- 2) 豊田則成・中込四郎（1998）競技引退を通じて体験される時間的展望 - 中年期危機を体験した事例から - . 日本スポーツ教育学会第 18 回大会抄録集：45 .
- 3) 金大勲（1999）韓国元一流競技者の引退後のライフヒストリーに関する研究 . 日本体育学会 第 50 回記念大会号：138 .